

障がい福祉

障がい者・障がい児福祉の推進について、広報・啓発活動などにより、障がい特性に応じた合理的配慮に対する理解や提供義務の周知を図ります。

また、個々のニーズに合わせた福祉サービスの提供などに努め、障がい者・障がい児の自立を支援します。

社会保険

国民健康保険の運営について、都道府県単位数が平成30年度から始まることに伴い、宮城県が国保運営の中心的な役割を担います。町は地域住民と身近な関係の中、資格管理や保険給付など、地域でのきめ細かい事業を引き続き実施します。さらに、国民健康保険被保険者の健康を保持・増進させるため、第2期データヘルス計画に基づき、重症化の予防や効率的な保健事業を継続します。

介護保険

介護保険の運営について、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域との協働による支援体制の実現を図るための制度改正の周知に努め、相談体制の充実を図ります。また、介護予防・日常生活支援総合事業や、地域の支え合い体制づくりを推進し、地域ケア会議を強化することで、きめ細かな相談や支援に努めます。さらに、医師や福祉職などで構成される認知症初期集中支援チー

ムを新たに設置し、関係機関と連携して認知症対策や在宅医療・介護連携の取組を進めます。

介護サービス事業

介護サービスの対象者および要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメントおよび介護予防サービス計画を策定し、地域の中で自立した生活を送れるよう支援します。

後期高齢者医療保険の運営について、発足から10年が経過し、医療制度として定着し、高齢者の医療を支える仕組みが取られていることから、今後も運営主体の宮城県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、各種申請・届出の受付、保険料の徴収などについて適正に対応します。

●主な事業	
宅配夕食サービス事業	8,478千円
介護予防・生活支援サービス事業	33,449千円
認知症総合支援事業	3,063千円

自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり

学校教育

学校教育について、「誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人」を目標として、地域の特色を生かした教育を推進します。また、今後小中学校で教科化となる特別の教科道徳の授業を通して、心豊かで思いやりのある子どもを育ていけるよう学校と連携を図り、取り組みます。

さらに、平成29年度から取組を開始した仙台大学との地域連携事業を活用し、幼児、児童、生徒の更なる体力、運動能力の向上に取り組みます。

学び支援の推進について、児童生徒の自学自習や家庭学習の習慣化を推進するため、学び支援事業を継続します。

不登校児童生徒の解消を図るため、「まっしまでもの心のケアハウス」事業を更に充実させるとともに、スクールソーシャルワーカーとも連携し、課題、問題を抱える家庭や児童生徒に寄り添い、不登校の未然防止と早期対応を図ります。

外国語指導助手の派遣について、引き続き外国語指導助手を2人体制にし、指導を実施します。情報教育環境の整備について、

小中学校の普通教室や特別教室において、インターネットが使用できるICTの環境整備を進めるとともに、学校ホームページを開設し、情報発信に努めます。

幼児教育の充実について、学びの土台、基礎となる幼児期における教育の質の向上を図るための幼稚園教諭の研修機会を充実させるとともに、学校、保育所、家庭、地域が連携し、松島らしい幼児教育を推進し、笑顔あふれる元気でたくましい子どもの育成に努めます。

食育指導の充実および推進について、学校給食について、安全・安心な、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供します。また、町内産の食材活用と体験活動などを重視し、生産者から直接学ぶ機会を設け、食への関心を高めます。

学校給食費の滞納について、法令に則り、対応を図るとともに、給食だよりや学校だより、またはPTAなどを通じて周知を図り、未納解消に努めます。

生涯学習

生涯学習について、家庭・地域・学校による協働教育を推進するとともに、松島の歴史・文化・風土などをテーマに、各種教室や講座などを実施し、地域住民が主体的

に学ぶ環境づくりに努めます。また、新たに「放課後子ども教室」を立ち上げ、地域の方々との参画を得ながら、多様な体験や交流活動などを実施し、児童の安心・安全な居場所づくりに取り組みます。

さらに、ジュニア・リーダーの育成や防災キャンプの実施を通して、青少年の体験活動の充実を図ります。

芸術文化の振興

芸術文化の振興について、文化観光交流館を芸術文化の拠点施設として、芸術鑑賞や自主的芸術活動などを推進するとともに、勤労青少年ホームの図書室については、継続的な図書の購入や蔵書管理、配架の工夫を行い、図書室機能を向上させます。

生涯学習関連施設の管理および運営について、公民館事業として、幅広い年代を対象とした各種講座などを実施するとともに、分館活動事業として、町民ふれあいスポーツ大会の開催や各地区分館自主事業の実施を通じ、住民相互のコミュニケーションの推進を図ります。

スポーツ振興

スポーツ振興について、町民スポーツを推進して、競技および交流人口の拡大と運動習慣の定着に努めます。また、生涯スポーツ関連施設の管理および運営として、スポーツ施設指定管理者による各種事業を

引き続き推進し、施設の有効利用と良好な維持管理に努めます。

文化財保護

文化財保護について、関連する文化財をグループで捉え、保存と活用のバランスがとれた事業運営に努めます。

文化財の保存について、老朽化した文化財看板を計画的に再整備することで、指定文化財や埋蔵文化財の周知を図るとともに、引き続き特別名勝松島保護地区の現状変更や埋蔵文化財包蔵地区に影響のある計画などについて、助言や諸手続きについて指導を実施します。

また、文化財の活用について、七ヶ浜町、利府町と共同で行っている「松島湾三町文化財展」を始めるとする展示も継続します。

おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり

国際観光

国際観光について、観光客誘致の強化として、平成20年から大修理を行っていた国宝瑞巖寺の全山公開に伴う「瑞巖寺落慶記念行事」により、多くの観光客が訪れることが予想されるため、町全体でもてなしていただけるよう事業を実施します。

また、観瀾亭松島博物館など施設の老朽化に伴う改修事業を実施し、より魅力ある施設にするための整備を行います。さらに、成田国際空港と仙台を結ぶ夜行バスの

●主な事業	
外国語指導助手（ALT）配置事業	7,560千円
子どもの心のケアハウス運営支援事業	3,589千円
放課後子ども教室事業	1,441千円

図ります。また、本町の景観を継承して、魅力を更に高めていくため、景観重点地区を中心に景観アドバイザーの活用や、景観整備事業補助金制度を通じ、地域の良好な景観形成に対する意識の醸成を図ります。

世界を魅了し東北を先導する国際観光の推進について、今年度で加勢50周年を迎える「世界で最も美しい湾クラブ事業」において、4月にフランスで開催される総会に出席し、各国の加盟湾に向けてPRを行い、東北のインバウンド誘致に繋がるよう働きかけます。

また、本事業の活動方針となる環境保全について、地域住民や観光客を対象とした参加型の松島湾清掃事業による清掃作業や観光案内を実施し、松島湾の環境保全に努めるとともに、加盟について啓発を図ります。

さらに、平成30年度に国内の加盟湾が5湾になることから、国内での連携体制を構築します。また、平成29年度に仙台市・名取市・岩沼市・塩竈市・多賀城市・本町の六市三町を「仙台・松島復興観光拠点都市圏」とし、宮城県とともに観光地域づくりの舵取り役となる「地域連携DMO」の設立に向けて取り組んできました。

平成30年度は、当該圏域が一体となり、訪日観光客の受入れに向けた事業を推進するため、連携を図ります。

国内外の交流を通じた松島の魅力発見について、増加する外国人



観光客に対応するため、本町においても引き続き国際交流員を雇用し、英語コンサルティング事業の実施などの受入態勢整備を進め、外国人目線で松島や東北の魅力を発信し、効果的に海外に向けたプロモーションを引き続き実施します。

交流事業

交流事業について、東北観光推進機構や宮城県、松島湾ターランド構成自治体などと連携し、観光

●主な事業	
瑞巖寺落慶記念事業	1,250千円
国内向け発地型観光パンフレット制作事業	1,500千円
観瀾亭松島博物館改修工事	18,700千円